

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-49		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	目次2	14	【読書案内】 【読書案内】	生徒にとって理解し難い表現である。 (「読書案内」の重複)	3-(3)				
2	29	下3-4	(実践) 気に入った一節を抜き出して味わおう	不正確である。 (目次及び50ページに照らして活動名が不正確である。)	3-(1)				
3	43	脚注2	(「DNA」の説明) 一般的に、遺伝子とも呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「DNA」について誤解する。)	3-(3)				
4	50	下5-6	古典的な著作の場合は著者名とタイトルだけでよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「古典的な著作」)	3-(3)				
5	50	下7-8	〈例〉(川上弘美『蛇を踏む』A社、二〇〇一年、〇〇ページ)	生徒にとって理解し難い例示である。 (評論文を引用する事例として理解し難い。)	3-(3)				
6	51	下イラスト	生徒が持っているフリップ	生徒にとって理解し難いフリップである。 (ページ上段のフリップに照らして理解し難い。)	3-(3)				
7	52	下囲み	(主な接続語の例) 添加の「および」、「つぎに」 並列の「あるいは」	生徒にとって理解し難い分類である。	3-(3)				
8	83	下囲み	脇筋 主題についての、補足的な言及	生徒にとって理解し難い表現である。 (「脇筋」)	3-(3)				
9	88	脚注8	「北極振動」の注	生徒にとって理解し難い注である。 (87ページの脚注8と重複する)	3-(3)				
10	104	上囲み	グラフの中には、自分の主張を通すために表示の仕方を操作し、読み手の誤解を狙ったものも少なくない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (グラフについて誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-49		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	125	上吹き出し	(Cさんの発言) (私)がすべての基本的な時代	生徒にとって理解し難い表現である。 (「基本的な時代」)	3-(3)	
12	161	側注	(筆者紹介) 福岡県に生まれた。	誤りである。 (出生地「福岡県」)	3-(1)	
13	172	2 - 3	すぐれたインタビュー記事を読むと、その人となりを通して、「情報」自体が生きたものとして効果的に伝わる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「その人となりを通して」)	3-(3)	
14	173	上4	中心となる業績や結果	生徒にとって理解し難い表現である。 (「結果」)	3-(3)	
15	184	脚注9	(崇峻天皇) 第三七代天皇	誤りである。 (「第三七代」)	3-(1)	
16	187	上11 -12	(言語活動②) 「瓦解」のように、一見意外な組み合わせに見える漢字を使って、独自の二字熟語を作ってみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「独自の二字熟語」。)	3-(3)	
17	207	下2	「靴下実験」(二〇一・二～)	生徒にとって理解し難い表現である。 (教材本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
18	219	下9- 11	「丸ごと肯定する」「『理解する』」とはどのように違うのか	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-50		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	39	上	「学習の手引き」「活動の手引き」(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のイ「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。)	2-(1)	
2	69	上	「学習の手引き」「活動の手引き」(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のイ「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。)	2-(1)	
3	86	3	媒	誤記である。	3-(2)	
4	99	上9-10	社会と調和した人類の手に負える科学の実践を提唱している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
5	109	上	「学習の手引き」「活動の手引き」(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のイ「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。)	2-(1)	
6	115	写真	図版とキャプション	生徒にとって理解し難い図版である。 (ポスターの示し方が理解し難い。)	3-(3)	
7	141	上	「学習の手引き」「活動の手引き」(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のイ「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。)	2-(1)	
8	159	上15-16	(活動の手引き 一) 『「生きものである」とはどういうことか』で示された提案とを関連させて、	生徒にとって理解し難い指示である。 (「生きものである」とは何を指すか理解し難い。)	3-(3)	
9	179	上	「学習の手引き」「活動の手引き」(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のイ「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。)	2-(1)	
10	192	11-12	「各教室のエアコン完備」と他の項目との得票数を比較すると、その差にかなりの違いが見られるからね。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「その差にかなりの違いが見られる」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-50		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	210	下6	(1)話し言葉) ●話し手と聞き手によって受け取り方が変化する。	生徒にとって理解し難い表現である。(文意が理解し難い。)	3-(3)	
12	215	下10-11	(1)相手との人間関係) たとえば、先輩との関係が非常に親しい場合は、とくに敬語表現を意識せずに会話をしているはずである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(敬語使用について誤解する。)	3-(3)	
13	216-219	項目	(論理的な表現) 1 理由が一つだけの論理的な表現 2 理由が複数ある論理的な表現① 3 理由が複数ある論理的な表現②	生徒にとって理解し難い項目立てである。(項目の立て方と活動内容との関係が理解し難い。)	3-(3)	
14	221	グラフ	横軸	生徒にとって理解し難いグラフである。(数値が何を示すか理解し難い。)	3-(3)	
15	229	下2-4	(2校内放送を使った案内) ●不特定多数の人を相手にした、聞き手の状況を考慮しない一斉放送のため、聞き手の耳にとどまることを意識する。	生徒にとって理解し難い説明である。(一斉放送の説明として理解し難い。)	3-(3)	
16	244	上9-13	(2接続表現) ピカソやゴッホ、つまり著名な画家の作品はありません。また、彫刻作品もありません。しかし、建物自体が一つの「作品」になっており、世界的には	生徒が誤解するおそれのある例文である。(「つまり」「たとえば」の用法について誤解する。)	3-(3)	
			とても有名な美術館です。たとえば、昨年の来館者数は日本人より外国人のほうが多かったぐらいです。			
17	246-247	上11-4	(活動⑦) 「次の各文の空欄に入れる語として、どの語が適切か答えよう。」(全体)	生徒にとって理解し難い設問である。(設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
18	246	下2-3	(3表現の工夫) 接続表現以外にも、文の印象を変えるさまざまな表現上の工夫がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(接続表現について誤解する。)	3-(3)	
19	246	下8-9	((1)和語・漢語・外来語(カタカナ語)) 外来語は新しく、くだけた印象を与える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(外来語について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 102-50		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	273	3段目	(6語句を隔てて修飾する場合。) 弟が大好きだった、隣の家の犬が死んだ。	生徒にとって理解し難い例である。(語句を隔てて修飾する場合に読点を付ける例として理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-51		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	39	3	媒	誤記である。	3-(2)	
2	64	写真	図版とキャプション	生徒にとって理解し難い図版である。 (ポスターの示し方が理解し難い。)	3-(3)	
3	80	上9-10	社会と調和した人類の手に負える科学の 実践を提唱している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
4	108	11-12	「各教室のエアコン完備」と他の項目との 得票数を比較すると、その差にかなり の差が見られるからね。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「その差にかなりの違いが見られる」)	3-(3)	
5	162	下6	(1)話し言葉) ●話し手と聞き手によって受け取り方が 変化する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
6	167	下10-11	(1)相手との人間関係) たとえば、先輩との関係が非常に親しい 場合は、とくに敬語表現を意識せずに 会話をしているはずである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (敬語使用について誤解する。)	3-(3)	
7	168-171	項目	(論理的な表現) 1 理由が一つだけの論理的な表現 2 理由が複数ある論理的な表現① 3 理由が複数ある論理的な表現②	生徒にとって理解し難い項目立てである。 (項目の立て方と活動内容との関係が理解し難い。)	3-(3)	
8	173	グラフ	横軸	生徒にとって理解し難いグラフである。 (数値が何を示すか理解し難い。)	3-(3)	
9	181	下2-4	(2校内放送を使った案内) ●不特定多数の人を相手にした、聞き 手の状況を考慮しない一斉放送のため、 聞き手の耳にとどまることを意識する。	生徒にとって理解し難い説明である。 (一斉放送の説明として理解し難い。)	3-(3)	
10	196	上9-13	(2接続表現) ピカソやゴッホ、つまり著名な画家の 作品はありません。また、彫刻作品も ありません。しかし、建物自体が一つの 「作品」になっており、世界的には	生徒が誤解するおそれのある例文である。 (「つまり」「たとえば」の用法について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-51		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			とても有名な美術館です。たとえば、昨年の来館者数は日本人より外国人のほうが多かったぐらいです。						
11	198 - 199	上11 - 4	(活動⑦) 「次の各文の空欄に入れる語として、どの語が適切か答えよう。」(全体)	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)				
12	198	下2- 3	(3表現の工夫) 接続表現以外にも、文の印象を変えるさまざまな表現上の工夫がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (接続表現について誤解する。)	3-(3)				
13	198	下8- 9	((1)和語・漢語・外来語(カタカナ語)) 外来語は新しく、くだけた印象を与える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)				
14	225	3段目	(6語句を隔てて修飾する場合。) 弟が大好きだった、隣の家の犬が死んだ。	生徒にとって理解し難い例である。 (語句を隔てて修飾する場合に読点を付ける例として理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-52		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	78	下段	(言葉の手引き) 三「チープ(な)」を、文脈に即した意味になるように、日本語で言い換えてみよう。	生徒が誤解するおそれのある設問である。 (「日本語で言い換えてみよう。」)	3-(3)	
2	124	下6	((1)話し言葉) ●話し手と聞き手によって受け取り方が変化する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
3	129	下10 -11	((1)相手との人間関係) たとえば、先輩との関係が非常に親しい場合は、とくに敬語表現を意識せずに会話をしているはずである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (敬語使用について誤解する。)	3-(3)	
4	130 - 133	項目	(論理的な表現) 1 理由が一つだけの論理的な表現 2 理由が複数ある論理的な表現① 3 理由が複数ある論理的な表現②	生徒にとって理解し難い項目立てである。 (項目の立て方と活動内容との関係が理解し難い。)	3-(3)	
5	135	グラフ	横軸	生徒にとって理解し難いグラフである。 (数値が何を示すか理解し難い。)	3-(3)	
6	143	下2- 4	(2校内放送を使った案内) ●不特定多数の人を相手にした、聞き手の状況を考慮しない一斉放送のため、聞き手の耳にとどまることを意識する。	生徒にとって理解し難い説明である。 (一斉放送の説明として理解し難い。)	3-(3)	
7	158	上9- 13	(2接続表現) ピカソやゴッホ、つまり著名な画家の作品はありません。また、彫刻作品もありません。しかし、建物自体が一つの「作品」になっており、世界的には	生徒が誤解するおそれのある例文である。 (「つまり」「たとえば」の用法について誤解する。)	3-(3)	
			とても有名な美術館です。たとえば、昨年の来館者数は日本人より外国人のほうが多かったぐらいです。			
8	160 - 161	上11 -4	(活動⑦) 「次の各文の空欄に入れる語として、どの語が適切か答えよう。」(全体)	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
9	160	下2- 3	(3表現の工夫) 接続表現以外にも、文の印象を変えるさまざまな表現上の工夫がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (接続表現について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-52		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	160	下8-9	((1)和語・漢語・外来語(カタカナ語) 外来語は新しく、くだけた印象を与える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)				
11	187	3段目	(6語句を隔てて修飾する場合。) 弟が大好きだった、隣の家の犬が死んだ。	生徒にとって理解し難い例である。 (語句を隔てて修飾する場合に読点を付ける例として理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-53		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 ②		(『ちいさい言語学者の冒険』の図版) 「岩波科学ライブラリー」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
2	79	下段	(言葉の手引き) 三「チープ(な)」を、文脈に即した意味になるように、日本語で言い換えてみよう。	生徒が誤解するおそれのある設問である。 (「日本語で言い換えてみよう。」)	3-(3)				
3	116	下6	((1)話し言葉) ●話し手と聞き手によって受け取り方が変化する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
4	121	下10 -11	((1)相手との人間関係) たとえば、先輩との関係が非常に親しい場合は、とくに敬語表現を意識せずに会話をしているはずである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (敬語使用について誤解する。)	3-(3)				
5	122 - 125	項目	(論理的な表現) 1 理由が一つだけの論理的な表現 2 理由が複数ある論理的な表現① 3 理由が複数ある論理的な表現②	生徒にとって理解し難い項目立てである。 (項目の立て方と活動内容との関係が理解し難い。)	3-(3)				
6	127	グラフ	横軸	生徒にとって理解し難いグラフである。 (数値が何を示すか理解し難い。)	3-(3)				
7	135	下2- 4	(2校内放送を使った案内) ●不特定多数の人を相手にした、聞き手の状況を考慮しない一斉放送のため、聞き手の耳にとどまることを意識する。	生徒にとって理解し難い説明である。 (一斉放送の説明として理解し難い。)	3-(3)				
8	150	上9- 13	(2接続表現) ピカソやゴッホ、つまり著名な画家の作品はありません。また、彫刻作品もありません。しかし、建物自体が一つの「作品」になっており、世界的には	生徒が誤解するおそれのある例文である。 (「つまり」「たとえば」の用法について誤解する。)	3-(3)				
			とても有名な美術館です。たとえば、昨年の来館者数は日本人より外国人のほうが多かったぐらいです。						
9	152 - 153	上11 -4	(活動⑦) 「次の各文の空欄に入れる語として、どの語が適切か答えよう。」(全体)	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-53	学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
-------------	---------	-------	----------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	152	下2-3	(3表現の工夫) 接続表現以外にも、文の印象を変えるさまざまな表現上の工夫がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (接続表現について誤解する。)	3-(3)
11	152	下8-9	((1)和語・漢語・外来語(カタカナ語)) 外来語は新しく、くだけた印象を与える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)
12	179	3段目	(6語句を隔てて修飾する場合。) 弟が大好きだった、隣の家の犬が死んだ。	生徒にとって理解し難い例である。 (語句を隔てて修飾する場合に読点を付ける例として理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-54		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	33	16	日本の貴族の日記文学がこれほど多く残されているのも	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日記文学について誤解する。)	3-(3)	
2	59	表	(〈例〉構成メモ なか四) 自分の意見の理由のうち、最も説得力のあるものを書く。 自分の意見の理由のうちで最も説得力のあるものを示す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なか三との関係が理解し難い。)	3-(3)	
3	117	脚注	「情報の探し方」(巻末⑧)	表記が不統一である。 (巻末⑧「情報の集め方」に照らして不統一。)	3-(4)	
4	118	16	まず、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「まず」の使い方として理解し難い。)	3-(3)	
5	133	6 - 7	「質問の観点」(129ページ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (129ページに照らして理解し難い。)	3-(3)	
6	153	右下	(著作案内) 『新装版 西洋の眼 日本の眼』	生徒にとって理解し難い表現である。 (図版に照らして理解し難い。)	3-(3)	
7	156	側注7	視覚野 右脳の後頭葉に位置し、視覚が受け取った情報の分析と統合を行う。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「視覚野」について誤解する。)	3-(3)	
8	166	左下	(「平野啓一郎」の「著書」) 『カッコいいとは何か』	不正確である。 (著書名。)	3-(1)	
9	212	1 - 3	討論では、相手の発言や意見をその場で理解し、それをふまえて反論したり、反論されたりする場面が多くある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
10	231	左下	(著作案内『人工知能はなぜ椅子に座れないのか』の図版) 新潮選書	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-54		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	231	左下	(著作権内『アンドロイドは人間になれるか』の図版) 文春新書	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
12	250	下2-3	長すぎる文は、句点を打って区切ることができないか、あるいは二つの文に分けられないか考える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「句点を打って区切ることができないか、あるいは二つの文に分けられないか」。)	3-(3)				
13	253	上3-4	(死ぬまで…の比喩)	誤記である。	3-(2)				
14	256	下8-9	(強調表現のポイント) 以下のような表現のときには、強調されている文意を押さえない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「強調されている文意」。)	3-(3)				
15	258	左下	帰納法と演繹法の例文	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (帰納法と演繹法について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-55		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	32	上5	伝えたいことを正確に伝えるためには、一文の意味が一つに決まるように書こう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
2	39	下10	三つめは…。	表記が不統一である。 (「一つ目は、…。二つ目は、…。」に照らして不統一。)	3-(4)				
3	68	左上6-7	当社が改良した新型イブプロフェンをはじめ、8種の有効成分がかぜの諸症状を緩和します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「新型イブプロフェン」。)	3-(3)				
4	77	1段目7-8	その気配り上手さを生かせるような、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「気配り上手さ」。)	3-(3)				
5	77	3段目12-13	どうやら将来の夢に近づくための努力の証であることがわかった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
6	123	上3-4	次の発言が場面によってどのような意味をもつか、考えてみよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (発言に付されたイラストがどのような場面を表すのか理解し難い。)	3-(3)				
7	127	左上	(4アイデアを整理する KJ法) ④グループの論理関係を考える。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「グループの論理関係」。)	3-(3)				
8	146	上13-14	「紙の本と違い、電子書籍は紙を使わないので、森」に施された傍線	生徒にとって理解し難い傍線である。 (傍線の趣旨が理解し難い。)	3-(3)				
9	182	上3	(1) 企画が目指す方針と課題を確認する	生徒にとって理解し難い表現である。 (「企画が目指す方針」。)	3-(3)				
10	219	グラフ	日本の円グラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。 (出典に照らして理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-55		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	220	1段目表	(外来語) ウォーク	生徒にとって理解し難い例である。 (外来語の例として理解し難い。)	3-(3)
12	222	下6	(謙譲語) 承る (聞く)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「承る」について誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-56		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	右表	(話すこと・聞くこと「8 世界・平和」の9段目) 「話合いのしかたや結論の出し方を工夫しよう」	表記が不統一である。 (目次と教材本文に照らして不統一。)	3-(4)	
2	7	左表	(書くこと「3 芸術・文化」の2段目) 多様な表現のしかたを学ぶ	表記が不統一である。 (43ページに照らして不統一。)	3-(4)	
3	7	左表	(書くこと「7 経済・社会」の2段目) 文章の構成を学ぶ	表記が不統一である。 (145ページに照らして不統一。)	3-(4)	
4	8	上15 -16	小学校で学習した一〇〇六字を除いた漢字	誤りである。	3-(1)	
5	38	下5	文字を音声で表現するのは、思っている以上に難しい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「文字を音声で表現する」。)	3-(3)	
6	85	下6	「AIではなく、IAの持つ、斬新な可能性」(八四・6)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
7	99	下9- 10	「働くことの意味」が分かると働くようになる、という筆者の考え	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (筆者の考えについて誤解する。)	3-(3)	
8	110 - 111	下20 -上2	そこで、非音声表現の中でも、視覚的効果につながるものをうまく取り入れられるとよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直前の文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
9	116	11	誰も問うことでありながら	脱字である。	3-(2)	
10	139	上18 -下5	一方、形容詞は、「大きい人」「つらい気持ち」のように一語で名詞を修飾することが多く、形容動詞も、「静かな人」「丈夫な箱」のように一語で直後の名詞を修飾する用法が目立つ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (前二段落に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-56		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			また、形容詞が文末に使われる場合、形容詞は「象は鼻が長い。」「私は背が高い。」のように、形容動詞は「彼は水泳が得意だ。」「彼女は字が上手だ。」のように、それぞれ「～は～		
			が…」という構文を取ることができる。		
11	209	下5	情報源が書き手自身にないことを明示する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文意を誤解する。)	3-(3)
12	209	下13 -14	論文・レポートに話し言葉や発想が混入していると文章の説得力が下がる	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発想」。)	3-(3)
13	221	表	(年表6段目24行) 金原ひとみの振り仮名「かなはら」	不正確である。 (作者名が不正確。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-57		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	2	ぐうぜん、うたがう、読書のすすめ (6ページ「話す・聞く」の表の「一 知らないものに出会う」の4段目、9 ページ1行目も同。)	誤記である。	3-(2)	
2	5	5	グローバリズムの光と影 (7ページ「読む」の表の「十 多文 化共生社会と「私」」の4段目、189ペ ージ7行目も同。)	誤記である。	3-(2)	
3	13	10	あたりまのことですが	脱字である。	3-(2)	
4	13	脚注3	可塑性 加えられた力によって物の形 が変わる性質。塑性ともいう。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「可塑性」について誤解する。)	3-(3)	
5	25	上11	「一行をすつくと立ち上がらせている 」(22・5)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
6	25	下2- 3	「読書の楽しみとは、ほかでもない、 この『どのように』を味わうことにあ るのだから。」(20・4)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
7	27	8	読んでみたいみたい	誤記である。	3-(2)	
8	32	脚注1	(3行目) 猪 (32ページ脚注2「笥」の説明の「樋 」、173ページ脚注7「トカゲ」の説明 の「鱗」、219ページ上15行目の「鵜	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の字であるのに読み方が示されてお らず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
			」も同。)			
9	32	脚注1	(5行目) 添水	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の訓であるのに読み方が示されてお らず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-57		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	32	脚注	問①「それ」とは何を指すか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (空白。)	3-(3)	
11	52	中、左	(『はじめて考えるときのよう』の 図版) PHP文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
12	70	上1- 2	1 三つの文章を読み比べ、それぞれの文章は現代の情報社会をどのように捉えているか、考えよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「三つの文章」が何を指すか理解し難い。)	3-(3)	
13	71	図4	ソーシャルネットワーキングシステム (SNS)の利用目的(複数回答) (図5 インターネット利用で感じる不安の内容(複数回答)も同。)	不正確である。 (出典に照らして不正確。)	3-(1)	
14	72	上2	玄田有司	不正確である。 (著者名が不正確。)	3-(1)	
15	79	下5	褒める76	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
16	94	2 - 3	いくぶん無秩序に並べられて、整列されていないテーブル	表記が不統一である。 (読点の付け方が不統一。)	3-(4)	
17	94	最下行	『ワール・ドカフェをやろう 新版』	誤記である。	3-(2)	
18	96	上18 -19	「私たちの集団的苦境」(90・10)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
19	96	下4	対等な関係生まれ	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-57		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	97	3	1で見出された「大切な問い」	生徒にとって理解し難い表記である。 (「大切な問い」。)	3-(3)	
21	101 - 102	下18 -上1	ただし、テーマである大切な問い、「近所の外国人と仲良く暮らすには」ですから離れないようにしてください。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
22	125	上10 -11	「レトリックは発見的認識への努力に近い」(123・2)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
23	125	下2	「精神硬化現象」(122・4)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
24	137	上7- 8	「わたしたちの社会はアンドロイドとどのように付き合っていくべきなのか」(134・9)	不正確である。 (引用とページと行の示し方が不正確。)	3-(1)	
25	158	8	二点	誤記である。	3-(2)	
26	176	上2	「生命という名の動的な平衡」(174・7)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
27	176	上4- 5	「これを乱すような操作的な介入を行えば、……ダメージを受ける。」(174・11)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)	
28	176	下6	平衡175	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
29	180	上2- 3	「ヒトゲノムは、人類の遺産である。」(177・2)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-57		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
30	180	上6-7	「人はゲノムのみによって存在が決定されるものではない」(179・1)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)				
31	187	上10	情報をうのみみにせず	誤記である。	3-(2)				
32	188	中17	「柳田邦夫」とその振り仮名「やなぎたくにお」	不正確である。 (著者名が不正確。)	3-(1)				
33	206	上12-14	「だが、それが『自然の衝動』ではなく、社会的、文化的に構築されてきたものであるからこそ、脱構築することも可能なはずである。」(189・8)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)				
34	206	上15-18	「アジェは『よそ者=外国人』という考え方が社会に定着しているが、これは『よそ者』概念を否定的、かつ矮小化して捉えていると批判する。」(189・13)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)				
35	212	上7-16	二 ポスターセッションの進め方(全体)	生徒にとって理解し難い指示である。 (活動の進め方が理解し難い。)	3-(3)				
36	220	上19	何らかかの傾向	誤記である。	3-(2)				
37	221	上7	身に付け	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)				
38	222	上5-6	「なぜならば」や「だから」の接続詞を使って	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
39	223	上11	「帰納的推論」いう。	脱字である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-57		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
40	228	下1-2	「労働の本質」(227上・9)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)
41	228	下11-12	あとで自分の考えをまとめるために役立つ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (空白。)	3-(3)
42	233	上1-5	① 投書の書き手の立場は「……骨董市に出掛けた時のことです。」というように、冒頭の一文で簡潔に示されている。	生徒にとって理解し難い説明である。 (例文に照らして理解し難い。)	3-(3)
43	236	リード文	手紙によって相手と適切に伝え合うためには、基本的な形式をふまえることが必要である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-58		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	19	上17	「平成28年度『国語に関する世論調査』の結果概要」	不正確である。 (出典の示し方が不正確。)	3-(1)				
2	26	上12	C解決のための条件はこうだ。〈根拠〉	生徒にとって理解し難い説明である。 (「根拠」の説明として理解し難い。)	3-(3)				
3	29	下7	プロ	誤記である。	3-(2)				
4	38	中18-20	週刊誌でのインタビュー記事を長期にわたり続けてきた著者が	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
5	42	上15-下2	次の各メディアと比べ、その特徴を明らかにしてみよう。その上で、SNS、また、その他のメディアとどのようにつきあえばよいのだろうか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
6	48	上14-下1	それ以上の場合、前後を一行空け、行頭から二文字分下げて書く「ブロック引用」という方法がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
7	48	下11	⑤必ず原文通りに引用すること	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明に照らして理解し難い。)	3-(3)				
8	49	上2-3	ウェブページに掲載されている文章にも書いた人の権利がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直後に続く内容に照らして理解し難い。)	3-(3)				
9	73	下9-12	一枚の写真だけでは違ったものが読み取れていたのに、別の写真と言葉が足されることによって、新しい世界ができてあがってくるものもある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
10	76	下13	46分	生徒にとって理解し難い表現である。 (もとの文章に照らして理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-58		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	84	中11-15	予測不可能な自然災害について、防災や減災についての心構えを、天・地・海・人の四部に分けて書かれたエッセイ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
12	86	3	日本は自然災害の発生の方には、地形が少なからず影響する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
13	91	脚注①	(3行目) 猪 (150ページ3段目左の歌田明弘『電子書籍の時代は本当に来るのか』の紹介文の「黎」も同。)	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の字であるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
14	106	上14	分析すし	誤記である。	3-(2)	
15	106	下、右	『陰翳礼賛』	不正確である。 (図版に照らして不正確。)	3-(1)	
16	110	下1-3	しかし、カップとマルジャーナの例で提示されたのは、言葉による情報としての姿形がないこと自体が情報だという示唆である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈に照らして理解し難い。)	3-(3)	
17	110	下17-19	コミュニケーションにおいても、「差異」は情報として大きな価値をもつのである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直前までの内容に照らして理解し難い。)	3-(3)	
18	114	題、副題、上1-2	論理か感情か —説明文と物語文— 文章で何かを説明しようとする時、私たちは論理で迫るだろうか、それとも感情に訴えるだろうか。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (説明文と物語文について誤解する。)	3-(3)	
19	114	上15-下14	一方で、何かを説明する場合、受け手の感情に訴えることが有効な場合もある。…それだけ物語の説得力は絶大であるといえよう。	生徒にとって理解し難い説明である。 (物語文の説明として理解し難い。)	3-(3)	
20	119	1吹き出し	(2-4行目) 「はやぶさ2」はどんな仕事をしてるのかな?という題で	生徒にとって理解し難い表現である。 (フリップに照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-58		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	129	下7-8	他人の文章をそのまま掲載される	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
22	130	柱	情報を活用する	生徒にとって理解し難い表現である。 (目次に照らして理解し難い。)	3-(3)	
23	143	下6	「読書メーター」	特定のサービスの宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
24	149	側注③	可塑性 加えられた力によって物の形が 変わる性質。塑性ともいう。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「可塑性」について誤解する。)	3-(3)	
25	149	下7-8	筆者と芦田愛菜、「読書」や「本との 出会い方」を比べてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
26	149	下	(川上未映子の著者紹介) 「ヘブン」	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
27	158	上1- 下14	(コラム本文全体) 何かを提案したいのなら、二つの案 を提案しよう。 … だから、提案するなら二つの案を出	生徒にとって理解し難い説明である。 (コラムの趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			そう。対話と思考を起動させるために 。			
28	168	13 - 14	今、「日本の中だけにいるのでは本当 のことは理解できない」ということで すが	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
29	170	下3	■パネラーどうしの質問を促す。 (170ページ下4行目も同。)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (司会者の役割について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

4 枚中 4 枚目

受理番号 102-58		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	221	下1-2	並立 …および・また この言葉の前と後で同じ内容を述べる。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「並立」の説明として理解し難い。)	3-(3)
31	221	下7	ところで	誤記である。	3-(2)
32	235	上25-中1	「まず」	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-59		学校 高等学校		教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	18	5 - 6	(学習2) 「『下手もの』にこそ、真の美が宿っている」(一六・1)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
2	43	上	言語活動L2 筆者のインタビュー動画を見て、「私たちが経済学を学ぶ意義」について筆者がどのように話しているか確認してみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「筆者のインタビュー動画を見て」。)	3-(3)	
3	55	下、表 7	(接続語の例、「ただし もっとも」の説明) 前の事柄と部分的に相反する内容を加える	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (補足の接続語について誤解する。)	3-(3)	
4	95	上11 -12	(環境問題のこれから) 日本に古くからある思想は、人間も自然の一つと考え、人間が一方的に自然を搾取・保護するものではない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
5	160	下	(関連書籍 本庶佑『ゲノムが語る生命像』の図版) BLUE BACKS	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	211	下	I練習問題1 ウェブリンクの動画を視聴して、次の(1)～(4)に答えてみよう。…2 音声資料を聞いて復唱や聴写をしてみよう。3 二〇五頁の「企画検討会議」の映像資料を視聴して、そ	生徒にとって理解し難い設問である。 (「「ウェブリンクの動画を視聴して」「音声資料を聞いて」「二〇五頁の「企画検討会議」の映像資料を視聴して」。)	3-(3)	
			れぞれの発言の要点を箇条書きで書いてみよう。			
7	240	下10 -12	(ディベートの例) 第二に、特にバスの場合はそうですが、揺れやすい車内で立ちっぱなしだと危険をともなうような立場の人もいるはずです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「危険をともなうような立場の人」。)	3-(3)	
8	254	2段1 -2	(評論キーワード) 封建 主従関係を基本とする社会の仕組みのこと。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「封建」について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-60		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	47	上	言語活動L2 筆者のインタビュー動画を見て、「私たちが経済学を学ぶ意義」について筆者がどのように話しているか確認してみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「筆者のインタビュー動画を見て」。)	3-(3)				
2	59	下、表 7	(接続語の例、「ただし もっとも」の説明) 前の事柄と部分的に相反する内容を加える	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (補足の接続語について誤解する。)	3-(3)				
3	81	上1- 2	(根拠の妥当性を説明する<商品レビュー>) 自分の主張(考えや意見)が正しいことを説明している部分を根拠(理由)という。	生徒にとって理解し難い説明である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)				
4	82	上2- 3	(同) 「A社のシャープペンシルのよさ」を根拠にしている1~3と異なり、	生徒にとって理解し難い説明である。 (2の例の説明として理解し難い。)	3-(3)				
5	83	下、囲 み	(同) 課題2【例1】の2に「根拠と主張をつなぐ別の理由」を加えてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (学習活動の趣旨が理解し難い。)	3-(3)				
6	104	上9- 11	(言語活動【例】) 生徒が自然の美しさや神秘、疑問を感じられるような空間を創出している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何に疑問を感じているのか理解し難い。)	3-(3)				
7	106	上11 -12	(環境問題のこれから) 日本に古くからある思想は、人間も自然の一つと考え、人間が一方的に自然を搾取・保護するものではない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)				
8	107	下11	(チェックポイント[4]) 虚構の文節を与え、	誤記である。 (「文節」。)	3-(2)				
9	143	下	(関連書籍 本庶佑『ゲノムが語る生命像』の図版) BLUE BACKS	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
10	191	下	I練習問題1 ウェブリンクの動画を視聴して、次の(1)~(4)に答えてみよう。…2 音声資料を聞いて復唱や聴写をしてみよう。3 一七三頁の「企画検討会議」の映像資料を視聴して、そ	生徒にとって理解し難い設問である。 (「ウェブリンクの動画を視聴して」「音声資料を聞いて」「一七三頁の「企画検討会議」の映像資料を視聴して」。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-60		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			それぞれの発言の要点を箇条書きで書いてみよう。						
11	220	下10-12	(ディベートの例) 第二に、特にバスの場合はそうですが、揺れやすい車内で立ちっぱなしだと危険をともなうような立場の人もいるはずです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「危険をともなうような立場の人」。)	3-(3)				
12	230	2段1-2	(評論キーワード) 封建 主従関係を基本とする社会の仕組みのこと。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「封建」について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-61		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 ①	上1-4	ノンフィクションの読書案内物語や小説（フィクション）ではなく、現実に基づいた文章をノンフィクションという。ノンフィクションの本は、実社会ですぐに役立つ知識や考え方を	生徒が誤解するおそれのある表題と説明である。（ノンフィクションについて誤解する。）	3-(3)
			をわかりやすく示してくれるものも多い。		
2	109	上、表 7	（接続語の種類、補足の説明）前の事柄と部分的に相反する内容を加える	生徒が誤解するおそれのある説明である。（補足の接続語について誤解する。）	3-(3)
3	110	下3-5	（外来語）国際化に対応するためにも、それらを理解し使いこなすことは重要であるだろう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。（外来語について誤解する。）	3-(3)
4	146	上5-10	（目的に応じて情報を聞き取る）ここでは、「「わらしべ長者」の経済学」の筆者のインタビュー動画を視聴し、筆者が次の質問項目について、どのように話しているかを聞き取ってみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。（「筆者のインタビュー動画を視聴し」。）	3-(3)
			L1 経済学に興味を持つようになったきっかけ 2 経済学を学ぶ意義 3 「「わらしべ長者」の経済学」に込		
			めたメッセージ		
5	164	上1-2	（根拠の妥当性を説明する）自分の主張（考えや意見）が正しいことを説明している部分を根拠（理由）という。	生徒が誤解するおそれのある説明である。（文意が理解し難い。）	3-(3)
6	165	上1-2	（同）「A社のシャープペンシルのよさ」を根拠にしている1～3と異なり、	生徒にとって理解し難い説明である。（2の例の説明として理解し難い。）	3-(3)
7	166	下、囲み	（同）課題2【例1】の2に「根拠と主張をつなぐ別の理由を」を加えてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。（学習活動の趣旨が理解し難い。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-61		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
8	169	下	L練習問題2 音声資料を聞いて復唱や聴写をしてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「音声資料を聞いて」。)	3-(3)
9	174	下10 -12	(ディベートの例) 第二に、特にバスの場合はそうですが、揺れやすい車内で立ちっぱなしだと危険をとまなうような立場の人もいるはずです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「危険をとまなうような立場の人」。)	3-(3)
10	192	下13 -15	(意見文を書く) ・「よい発表には裏方担当者の力量も欠かせない」という意見を示し、裏方担当者も評価するような部門賞を設ける説得力を強めている。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「説得力を強めている」。)	3-(3)
11	208	1-2	悲しみや怒りを表すための言葉	生徒にとって理解し難い表題である。 (あげられている例に照らして理解し難い。)	3-(3)
12	209	下10 -11	恐縮【きょうしゆく】 相手の厚意に対して、申し訳なく思うこと。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「相手の厚意に対して」。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-62		学校 高等学校		教科 国語		種目 現代の国語		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	22	上12 -14	(班の中でニュースを伝え合う例) Cさん●なぜこのようなお祭りを開催するのでしょうか。 Aさん●私はこのお祭りによって……と考えます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (21ページ「聞き方のポイント」の趣旨を誤解する。)	3-(3)				
			Bさん●今のAさんの意見に対して、私は……						
2	36	脚注4	近代 十八世紀頃にヨーロッパに始まった時代。また、その精神と社会の在り方。モダン。	生徒が誤解するおそれのある脚注である。 (本文に照らし日本の近代について誤解する。)	3-(3)				
3	40	上15	この言葉の前の具体例とは逆の例を挙げたり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「逆の例」。)	3-(3)				
4	40 - 41	下14 -上4	例えば、もし、自分だけの思い込みのような…具体例を示して、「こういうことがあった。だから、こう言えるのだ。」という説明があれば、その文章の説得力はぐんと増します。	生徒にとって理解し難い説明である。 (直前の段落との関係。)	3-(3)				
5	41 - 42	下17 -下2	評論を読む際は、筆者の言いたいことを把握し、理解することが大切です。…自分の考えを文章にしてみましよう。更に、友達と意見の交換ができれば理想的です。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「評論の読み方」に関する説明として趣旨が理解し難い。)	3-(3)				
6	198	下12	明朝体	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の読みであるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)				
7	198 - 199	図	「修正前」及び「修正後」の図に示されている⑤	生徒にとって理解し難い示し方である。 (下段の「⑤段落(パラグラフ)」の説明に照らし理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-63		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	16	側注	(筆者紹介) 合気道高段者などの武道家でもあり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「合気道高段者などの武道家」)	3-(3)
2	31	下図	(メモ) 玉ねぎ 薄切り／くし形切り ／じゃがいも／中火 弱火／カレー ー 豚肉／切る 塩こしょう／煮る いためる／トマトジュース／コーヒー ー口大／にんじん	生徒にとって理解し難い例示である。 (レシピのメモ書きの例として理解し難い。)	3-(3)
3	52	脚注4	近代 → 評論「モダン／ポストモダン」 (二四一ページ)	生徒が誤解するおそれのある脚注である。 (本文に照らし日本の近代について誤解する。)	3-(3)
4	183	下2-6	論証を行う際には、その論理に飛躍がないかどうか、注意しよう。例えば、「ドイツでは十八歳で成人である。」ということだけを根拠にして、「だから日本でも成人式は十八歳で行うべき	生徒にとって理解し難い説明である。 (「飛躍」の説明として理解し難い。)	3-(3)
			である。」という答えを導いたならば、そこには飛躍があるといえる。		
5	237	下8-10	演繹は原理や法則から、具体的な事例の結論を導き出すこと。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「具体的な事例の結論を導き出すこと」。)	3-(3)
6	248	上図版	(③ひとり空間の都市論) CHIKUMA SHINSHO	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-64		学校 高等学校	教科 国語	種目 現代の国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	20	脚注4	近代 → 評論「モダン／ポストモダン」(二八一ページ)	生徒が誤解するおそれのある脚注である。 (本文に照らし日本の近代について誤解する。)	3-(3)
2	31	側注	(筆者紹介) 合気道高段者などの武道家でもあり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「合気道高段者などの武道家」)	3-(3)
3	162	下図	(メモ) 玉ねぎ 薄切り／くし形切り ／じゃがいも／中火 弱火／カレールー ／豚肉／切る／塩こしょう／煮る いためる／トマトジュース／コーヒー ／一口大／にんじん	生徒にとって理解し難い例示である。 (レシピのメモ書きの例として理解し難い。)	3-(3)
4	220	下2-6	論証を行う際には、その論理に飛躍がないかどうか、注意しよう。例えば、「ドイツでは十八歳で成人である。」ということだけを根拠にして、「だから日本でも成人式は十八歳で行うべき	生徒にとって理解し難い説明である。 (「飛躍」の説明として理解し難い。)	3-(3)
			である。」という答えを導いたならば、そこには飛躍があるといえる。		
5	277	下8-10	演繹は原理や法則から、具体的な事例の結論を導き出すこと。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「具体的な事例の結論を導き出すこと」。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-66		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	目次3	下13-14	香爐峰下新ト山居、草堂初成、偶題東壁	表記が不統一である。 (教材本文に照らして不統一である。)	3-(4)	
2	目次6	上18	実践 詩歌を通して、表現力を磨こう	表記が不統一である。 (教材本文に照らして不統一である。)	3-(4)	
3	10	下5-6	(5. b 表現) ことばや表現のための手がかりおよび言語活動の課題について掲げた。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
4	30	脚注1	和泉式部 九七九—一〇三六年頃。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	
5	32	上6-8	現代語には仮定形があるが、これは古語の已然形(已にそうなっている意)が確定条件を表したのに対して、現代語では仮定条件を表すので名称を改めたものである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (已然形と仮定形の関係について誤解する。)	3-(3)	
6	33	下	(③撥音便) 当時は「ん」は表記されない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (撥音便の表記について誤解する。)	3-(3)	
7	44	下2-3	(〈敬語〉について) 現代では、一般に会話以外に敬語は使われないが、古文では、地の文(会話文以外の文)でも敬語が用いられる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「現代では、一般に会話以外に敬語は使われない」。)	3-(3)	
8	56	上2-6	現代の『かぐやひめ』の絵本は、話の流れは古典の『竹取物語』とほぼ共通しているものの、かぐや姫や求婚する男性たちのようすなどが現代風に描かれている。具体的にどのような点が古	生徒にとって理解し難い表現である。 (学習活動の指示が理解し難い。)	3-(3)	
			典の物語と異なっているのか、実際に調べて違いを見つけよう。			
9	68	下7-9	(②けり) 眼前の出来事や物語中の出来事に、観察者の立場で注釈を加えるのに用いられることが多い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「観察者の立場で注釈を加える」。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-66		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	97	上14	《語の形が変わる敬語》（動詞の敬語形）	生徒にとって理解し難い説明である。 （敬語動詞の説明として理解し難い。）	3-(3)				
11	124	下13-15	（縁語の説明） 比喩としての語や序詞の中の語、また、掛詞の事物・景物の描写の語などがなりやすい。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （縁語について誤解する。）	3-(3)				
12	134	2段	（『清少納言と紫式部 和漢混淆の時代の宮の女房』の図版） 日本史リブレット人 020	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
13	137	15-16	このとおり、漢文は表記（文字）と語彙の両面から日本語を支える太い柱の一つです。	生徒にとって理解し難い表現である。 （直前の内容に照らして理解し難い。）	3-(3)				
14	176	上2-4	「管鮑之交」「刺客荊軻」「死諸葛走生仲達」「那須宗高」の話ごとに、登場人物を一人選び、その人柄が最も伝わる発言と行動とを一つずつ、ノートに書く。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「その人柄が最も伝わる発言と行動とを一つずつ」）	3-(3)				
15	176	下3	それぞれの印象の違い	生徒にとって理解し難い表現である。 （「それぞれ」の指示内容。）	3-(3)				
16	253	下	（「読解の窓」2-3行） 一般に、書きことばを介在させずに幼児期に耳で自然に身につけた言語を「母語」あるいは「母国語」と呼んでいる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （コラムの趣旨を誤解する。）	3-(3)				
17	258	下	（「読解の窓」4-7行） 『枕草子』や『徒然草』のような、身近な出来事に関わる文章があり、ヨーロッパのエッセイを思わせる哲学的な思索を含むものもある。	生徒にとって理解し難い説明である。 （文意が理解し難い。）	3-(3)				
18	258	下	（「読解の窓」15-17行） 魅力的な随想は、人に対する興味をかきたて、文章を通じて人を知ることが、自らを見つめ直すきっかけとなる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （係り受けが理解し難い。）	3-(3)				
19	264	下	（「読解の窓」） 「伝統と近代」（全体）	生徒にとって理解し難いコラムである。 （「伝統」と「近代」に関する考察が理解し難い。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-66	学校 高等学校	教科 国語	種目 言語文化	学年
-------------	---------	-------	---------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
20	271	下	（「読解の窓」12-19行） このような語りの性質は、印刷された書物の時代でも、基本的には同じである。…小説・漫画・映画など、物語はメディアを自在に行き来しながら、い	生徒にとって理解し難い説明である。 （前段までとのつながりが理解し難い。）	3-(3)
			まも人々の想像力を刺激し続けている。		
21	296	上	（『ちくま小説入門』の紹介文） アンソロジーは編者が薦める名作のベスト版だ。	生徒にとって理解し難い表現である。 （文意が理解し難い。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-67		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全体		書籍全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。」)	2-(1)				
2	76	下11 -13	(歴史の窓) まさに『徒然草』は、古代文化の吹きだまりのような場に生まれた、中世の文学作品なのである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直前の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)				
3	169	上19 -下8	(3意味と使われ方の変化) さらには「助長」のように、今では逆の意味で使用されるようになった故事成語もある。……これは、由来となる話を知らずに誤用していたのが慣用化	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「助長」について誤解する。)	3-(3)				
			してしまった例と言えるだろう。						
4	190	下13 -15	(歴史の窓) 唐以前の詩や、また唐以後の詩でも近体詩のきまりを守っていないものは、これと区別して古体詩(古詩)と呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「近体詩」と「古体詩」について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-68		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	192	下11 -13	<p>(歴史の窓) まさに『徒然草』は、古代文化の吹きだまりのような場に生まれた、中世の文学作品なのである。</p>	<p>生徒にとって理解し難い表現である。 (直前の内容に照らして理解し難い。)</p>	3-(3)				
2	253	上19 -下8	<p>(3意味と使われ方の変化) さらには「助長」のように、今では逆の意味で使用されるようになった故事成語もある。……これは、由来となる話を知らずに誤用していたのが慣用化</p>	<p>生徒が誤解するおそれのある説明ある。 (「助長」について誤解する。)</p>	3-(3)				
			<p>してしまった例と言えるだろう。</p>						
3	274	下13 -15	<p>(歴史の窓) 唐以前の詩や、また唐以後の詩でも近体詩のきまりを守っていないものは、これと区別して古体詩(古詩)と呼ばれる。</p>	<p>生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「近体詩」と「古体詩」について誤解する。)</p>	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-69		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	174	下11 -13	<p>(歴史の窓) まさに『徒然草』は、古代文化の吹きだまりのような場に生まれた、中世の文学作品なのである。</p>	<p>生徒にとって理解し難い表現である。 (直前の内容に照らして理解し難い。)</p>	3-(3)				
2	224	5 - 11	<p>(3意味と使われ方の変化) さらには「助長」のように、今では逆の意味で使用されるようになった故事成語もある。……これは、由来となる話を知らずに誤用していたのが慣用化</p>	<p>生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「助長」について誤解する。)</p>	3-(3)				
			<p>してしまった例と言えるだろう。</p>						
3	236	下13 -15	<p>(歴史の窓) 唐以前の詩や、また唐以後の詩でも近体詩のきまりを守っていないものは、これと区別して古体詩(古詩)と呼ばれる。</p>	<p>生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「近体詩」と「古体詩」について誤解する。)</p>	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-70		学校 高等学校	教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 ①	下右	(『羅生門 蜘蛛の糸 杜子春』の図版) 現代日本文学館	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
2	168	2	「紅(くれなひ)」の振り仮名	誤記である。	3-(2)
3	199	上17 -下5	(3意味と使われ方の変化) さらには「助長」のように、今では逆の意味で使用されるようになった故事成語もある。……これは、由来となる話を知らずに誤用していたのが慣用化	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「助長」について誤解する。)	3-(3)
			してしまった例と言えるだろう。		
4	209	囲み	(学習の手引き 一) 「読家書」の返り点	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 102-71		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全体		書籍全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のア「日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含める」。)	2-(1)				
2	20	右下	(著作案内) 『詩と出会う、詩と生きる』	不正確である。 (「『詩と出会う、詩と生きる』」。)	3-(1)				
3	36	側注2	羅城門 →24ページ注1	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)				
4	112	下囲み 6	「ひしひしと」(147・2)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)				
5	144	2	この児 さめざめと	生徒にとって理解し難い表現である。 (空白。)	3-(3)				
6	151	下16 -17	花咲かん 現 花が咲かない	生徒が誤解するおそれのある例示である。 (「花咲かん」「花が咲かない」。)	3-(3)				
7	154	囲み	(単元課題) 1それぞれの説話の教訓に当たる部分を指摘し、	生徒にとって理解し難い指示である。 (「それぞれの説話の教訓に当たる部分を指摘し、」。)	3-(3)				
8	157	3	(早苗の振り仮名) さなえ	誤記である。	3-(2)				
9	158	脚注	(重要古語) ▼おぼす	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本文の「おぼしき」について誤解する。)	3-(3)				
10	159	下2	雑秋	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-71		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	159	下3	衣かりがね泣くなへに	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (歌の意味について誤解する。)	3-(3)	
12	161	上8	(解釈の視点2 係り結び) 取り集めたることは秋のみぞ多かる。 (158・3)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
13	161	上8	(解釈の視点2 係り結び) 取り集めたることは秋のみぞ多かる。 (158・3)	不正確である。 (結びの語の示し方が不正確。)	3-(1)	
14	163	脚注1	格子 →299ページ	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
15	176	2	額づくがごとし	不正確である。 (原典に照らして不正確。)	3-(1)	
16	179	脚注	(●紀友則) 選者	誤記である。	3-(2)	
17	183	3	長浜の湾	生徒にとって理解し難い表現である。 (「湾」の読み。)	3-(3)	
18	183	脚注	(「●大伴家持」の没年) 七五八	誤りである。 (没年。)	3-(1)	
19	191	下5	(訳) 京の都では見かけない鳥なので	生徒にとって理解し難い訳である。 (用例の訳として理解し難い。)	3-(3)	
20	195	2 - 3	(参考 かきつばたの折句) 最も絵に描かれた日本文学の一場面である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 102-71		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	201	3 - 4	(源氏物語への招待) 「若紫」は、主人公の光源氏が一八歳の春、病氣平癒のために赴いた北山で、小柴垣の屋敷の様子を垣間見て、少女と運命的な出会いをする場面である	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
			。			
22	205	図	(日本地図中の緑線と赤線) 源義経の進路 源義仲の進路	生徒にとって理解し難い地図である。 (進路の示し方が理解し難い。)	3-(3)	
23	206	脚注1	(木曾左馬頭) 信濃の国(現在の長野県)南西部の左馬寮の長官。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
24	212	7	(学習のポイント1) 「木曾三百余騎、」(216・16)以下 「主従五騎にぞなりにける。」(同9)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)	
25	221	1 - 2	(学習のポイント1) 「船路なれど馬のはなむけす。」 (218・8)、「塩海のほとりにてあざれあへり。」(218・9)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
26	227	10 - 11	(学習のポイント2) 読んだ	誤記である。	3-(2)	
27	227	脚注6	(清輔) 藤原清輔(一一〇四一一七七)。	不正確である。 (生年が不正確。)	3-(1)	
28	229	脚注2	烽火のろし。補敵の来襲や、急変を知らせるためにあげる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「烽火」について誤解する。)	3-(3)	
29	232	2段目 1	(226ページ)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-71		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	248 - 249		脚注6遂 そのまま。 脚注7終 とうとう。 249ページ2行目 本文注7,注8	相互に矛盾している。 (本文および脚注が矛盾している。)	3-(1)	
31	253	1段目 16-17	【逆鱗に触(れ)る】 例文 三日連続で遅刻して、先生の逆鱗に触れてしまった。	生徒が誤解するおそれのある例文である。 (「逆鱗に触れる」の用法について誤解する。)	3-(3)	
32	269	脚注	(句法) 何…	不正確である。 (句法の示し方が不正確。)	3-(1)	
33	270	下6	科挙 (270ページ)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
34	284	3	(学習のポイント2) 「君殺吾女。」(283・3)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)	
35	289	中11 -12	主要人物関係図……300 宮中の人々と官制……301	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
36	289	下12	訓読で注意する文字……333	表記が不統一である。 (333ページの見出しに照らして不統一。)	3-(4)	
37	289	下15	近現代文学史年表……340	表記が不統一である。 (340ページの見出しに照らして不統一。)	3-(4)	
38	304	上表	(「春」の4段目) 七草(一月初めの子の日)天皇が七種の若菜を食し、無病を祈る。民間では、七日に春の七草粥を食した。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (七草について誤解する。)	3-(3)	
39	307	下	已然形 現代語の仮定形は古語では已然形と呼ばれ働きも違う。「已然」とは「已に然り(そうである)」の意味で、すでに実現し確定した表現に用いられる活用形という意味である。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (已然形について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-71		学校 高等学校	教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
40	315	脚注	(丁寧語(聞き手尊敬)) 「続く勢は候はず。……」(210・2)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)
41	316	上	(◆序詞) 音数が自由で受ける語が固定せず創作性がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (序詞について誤解する。)	3-(3)
42	346	表	(年表の「参考事項」の5行目) オウム真理教事件	不正確である。 (事件名が不正確。)	3-(1)
43	348	上	(日本名文選) 13行目「梁塵秘抄 後白河法皇 (一一六九)」の他、下12行目「大鏡 (一一二〇)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (成立年代が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-72		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	55	2段目左	(現代小説のブックガイド) 十二国記	生徒にとって理解し難い表現である。 (図版の標題に照らして理解し難い。)	3-(3)				
2	148	下4	(■枕詞・序詞) 序詞は音数も内容も自由に作られる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (序詞について誤解する。)	3-(3)				
3	155	年表	古典文学史年表→278ページ	表記が不統一である。 (目次・278ページに照らして不統一。)	3-(4)				
4	160	左下	(読んでみよう) 伊東玉美	不正確である。 (図版に照らして不正確。)	3-(1)				
5	168	上 左下	●已然形 現代語の仮定形は古語では已然形と呼ばれ働きも違う。「已然」とは、「已に然り(そうである)」という意味である。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (已然形について誤解する。)	3-(3)				
6	190	上2	清少納喜	誤記である。	3-(2)				
7	209	1段目 3	天元五(九七八)年	誤りである。	3-(1)				
8	222 - 223		旅の文学マップ(全体)	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (各作品の旅程について誤解する。)	3-(3)				
9	266		『三国志(一)』の図版の表紙にある 「吉川英治歴史時代文庫33」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
10	266		漫画版『三国志』の図版の表紙にある 「希望コミックス」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-72		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	266		『漢文の読みかた』の図版の表紙にある「岩波ジュニア新書」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
12	280	年表5 段目	(参考事項) 承久の乱 (一二二一) 文永の役 (一二七四) 弘安の役 (一二八一)	生徒にとって理解し難い表示である。 (年表における位置が理解し難い。)	3-(3)				
13	287	年表5 段目	(参考事項) オウム真理教事件 (一九九五)	不正確である。 (事件名が不正確。)	3-(1)				
14	裏見返 12	上表	(「春」の4段目) 七草 (一月初めの子の日) 天皇が七種の若菜を食し、無病を祈る。民間では、七日に春の七草粥を食した。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (七草について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-73		学校 高等学校	教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	53	上4-5	例 これこそ、せうとくよ。(二〇・14) 咏嘆 もらすな若党、討てや。(八七・6) 呼びかけ	生徒が誤解するおそれのある例である。 (間投助詞の用法について誤解する。)	3-(3)
2	53	上4	咏嘆	誤記である。	3-(2)
3	157	下14-15	次の中唐の約七十年間は、社会矛盾に目を向けた詩が作られたり、特異な表現を追求する傾向が強まったりした。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「特異な表現」。)	3-(3)
4	177	下8-13	最初は古めかしい表現も散見される二葉亭四迷の『浮雲』の描写も、「第三篇」まで書き進めるうちにロシア文学や円朝の影響のもと、心理を見据え、その機微を緻密に描く文体を持つよう	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)
			に成長し、清新な翻訳とともに、多くの読者に影響を与えた。		
5	241	脚注12	ジョン・レノン Jhon Lennon	誤りである。	3-(1)
6	272	上16-18	6 「短歌」の中で、強調表現を用いている歌を指摘し、強調されているものに着目して、作者の心情を読み取ってみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「強調表現」。)	3-(3)
7	325	表	(年表6段目24行) 金原ひとみの振り仮名「かなはら」	不正確である。 (作者名が不正確。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-74		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	12	12-13	漢字の草書体から平仮名が生み出された。これによって日本固有の言葉である大和言葉を書き記すことが可能になった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「これによって日本固有の言葉である大和言葉を書き記すことが可能になった。」)	3-(3)	
2	21	12	(出典『日本語が亡びるとき——英語の世紀の中で』二〇一五年)	生徒にとって理解し難い示し方である。 (出典の示し方が理解し難い。)	3-(3)	
3	22	上4-5	「〈書き言葉〉は〈話し言葉〉の音を書き表したものではない」(20・8)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
4	25	3	遊びとして(百人一首など)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「百人一首」について誤解する。)	3-(3)	
5	29	囲み下	『三省堂 全訳読解古語辞典 第五版』	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	66	上1-2	三月ばかりになるほどに、よきほどなる人になりぬれば、髪上げなどとかくして、髪上げさせ、裳着す。(63・5)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
7	71	上9-10	活用語に付き、上の語の意味が下の語にどのように接続するかを示す。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (接続助詞の働きについて誤解する。)	3-(3)	
8	84	脚注2	(3行目) 「折句」の技法。(↓92ページ)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
9	88	脚注2	(2行目) 縁語。(↓90ページ)	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
10	108	上9-12	現代を生きる我々も敬語を用いている。基本的にはその用法と大きく異なるものではないが、身分社会が確立している古典の世界では、現代よりもはるかに厳格に敬語が使い分けられている	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「現代を生きる我々も敬語を用いている。基本的にはその用法と大きく異なるものではない」。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-74		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			。						
11	108	下6-9	古典は主語を記さないから難しいという声をよく聞く。なぜ主語が記されないのか。敬語を使用すれば、その動作主を示したこともなるのだから、わざわざ明記する必要がなかったのでは	生徒が誤解するおそれのある説明である。(古典における主語について誤解する。)	3-(3)				
			る。						
12	117	下3-6	①寄する波打ちも寄せなむわが恋ふる人忘れ貝下りて拾はむ (112・9) ②忘れ貝拾ひしもせじ白玉を恋ふるをだにも形見と思はむ (112・11)	不正確である。(ページの示し方が不正確。)	3-(1)				
13	121	下2-3	江戸時代までの暦は、月の満ち欠けを基本とする太陰太陽暦である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(「月の満ち欠けを基本とする太陰太陽暦」。)	3-(3)				
14	154	下1	3会意文字……象形文字や指事文字を組みあわせた漢字。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(「会意文字」について誤解する。)	3-(3)				
15	155	下6	◎義訓……漢字の熟語に対して、日本語をあてはめたもの。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(「義訓」について誤解する。)	3-(3)				
16	180	脚注	(井伏鱒二の注) 一八九八(明治三)年	誤りである。	3-(1)				
17	208	脚注	(問①) 「この『すれば』は、いつまでたっても、結局『すれば』であった」とはどういうことか。	生徒にとって理解し難い設問である。(本文の①に照らして理解し難い。)	3-(3)				
18	238	下4	①安いりボンと息を吐き	不正確である。(引用が不正確。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-74		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
19	240	上9	一九四二（昭和一二）年	誤りである。	3-(1)				
20	250	下7-8	消滅243 邪魔243 一斉247	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)				
21	259	上4-15	「百年はもう来ていたんだな。」 (223・14) 「ついに明治の木にはとうてい仁王は埋まっていないものだと思った。」 (226・16)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)				
			それで運慶が今日まで生きている理由もほぼわかった。」 (226・16)						
22	259	上14	六 それで	脱字である。	3-(2)				
23	259	下8	鮮やか251	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)				
24	268	下16	一九六三（昭和二八）年	誤りである。	3-(1)				
25	300	上9-10	「うちたちは原爆にこだわりすぎるとやろか」 (292下・15)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)				
26	301	上8	曖昧259	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)				
27	307	脚注	(問③) 「そんな」とは、どういうことか。	生徒にとって理解し難い設問である。 (「そんな」。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 102-75		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全体		書籍全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)のア「日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含める」。)	2-(1)	
2	18	上10	古典について考えたことを交流ができたか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
3	39	上3	基本語彙 (39ページ上7行目、68ページ下8行目と11行目、171ページ上3行目と4行目と9行目も同。)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「基本語彙」について誤解する。)	3-(3)	
4	39	上17-19	「乎」を反語の助詞「や」と読めば「不」は「……ざらん」と読み、「乎」を疑問の助詞「か」と読めば「……ざる」と読む。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「不……乎」について誤解する。)	3-(3)	
5	47	上4-5	「声」(26・15)	不正確である。 (ページと行の示し方が不正確。)	3-(1)	
6	68	下8-9	「令」と「使」に使い分けはない。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「令」と「使」について誤解する。)	3-(3)	
7	70	下8	堅点。熟語であることを示す。 (288ページ下「堅点(ハイフン)は、熟語を表す。」も同。)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (堅点の用法について誤解する。)	3-(3)	
8	70	下9	吾日三 - 省吾身。	不正確である。 (送り仮名の付け方が不正確。)	3-(1)	
9	86	上2	比喩と擬人法	生徒にとって理解し難い見出しである。 (用例に照らして理解し難い。)	3-(3)	
10	89	上15	火ほのかにともしたり、	生徒にとって理解し難い表現である。 (読点が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-75		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	89	下16	『新編古典文学全集』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
12	90	下	(『お伽草子』の紹介文) 太宰中期の作品から、有名な古典や民話をもとにした作品集。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
13	117	下6-7	縁語(一首の中に、同じ種類、似た意味合いの言葉を多く盛り込むこと)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「縁語」について誤解する。)	3-(3)	
14	135	下8-17	これに対して、三人称の語り手による物語である「オムライス」では、…それに寄り添った描写をしていくことができる。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「オムライス」の語り手について誤解する。)	3-(3)	
15	145	上4	『三国史』	誤記である。	3-(2)	
16	145	上14	コンピュータ・ゲーム	表記が不統一である。 (下段のキャプションに照らして不統一。)	3-(4)	
17	146	上4-7	翌年正月、宇治川で頼朝の派遣した源義経の大軍に敗れた義仲は、かねてより「死ぬときはともに」と誓い合っていた今井四郎兼平のもとに僅か七騎で向かった。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (平家物語の内容について誤解する。)	3-(3)	
18	147	脚注	(問) 「日ごろは何とも覚えぬ鎧が、今日は重うなつたるぞや。」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
19	153	下12-13	ここで、父は娘に「給ふ」「おぼす」と敬語で話しかけているが、当時としては珍しいことではなかった。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (敬語使用について誤解する。)	3-(3)	
20	154-155	地図	(「平家物語紀行」の地図) 富士川の合戦、宇治川の合戦、大原御幸、鹿谷事件、六波羅	不正確である。 (地図上の示し方が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-75		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	158	上3-5	作品の人物像や心情について考えたこと、気づいたことを書き出そう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「作品の人物像や心情」。）	3-(3)				
22	192	側注3	不要や不適なものを取り除くこと。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「不要や不適なもの」。）	3-(3)				
23	206	下18	批判な心	生徒にとって理解し難い表現である。 （「批判な心」。）	3-(3)				
24	231	上2-3	口先が上手で顔つきをころころ変える	生徒が誤解するおそれのある訳である。 （「巧言令色」について誤解する。）	3-(3)				
25	234	中10	（ブックガイド・宮沢賢治『銀河鉄道の夜』） 篇	表記の基準によっていない。 （常用漢字表外の字であるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。）	3-(4)				
26	288	上表	（上下点の例） 不以千里称也。（264・4）	不正確である。 （ページの示し方が不正確。）	3-(1)				
27	290 - 291		（290ページ中） 以千金使涓人求千里馬。（142・5） 何時倚虚幌（166・8） （290ページ下） 豈遠千里哉。（143・2）	不正確である。 （行の示し方が不正確。）	3-(1)				
			（291ページ上） 死馬且買之。況生者乎。（142・7） （291ページ中） 未解憶長安（166・5）						
28	291	上16	有一言可以終身行之者乎。	不正確である。 （引用が不正確。）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-76		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	25	上11 -14	(古文読解のために③) ナリ活用は語幹が和語であることが多い。タリ活用は語幹が漢語であることが多く、和漢混交文体の作品で用いられることが多い。	表記が不統一である。 (他の箇所参照して文体が不統一。)	3-(4)	
2	27	14 - 17	(古文の世界) わたしたちが普段に使っているなげない言葉も長い歴史をもち、歴史を経過するうちに意味を変容しながら我々現代人に流れ込んでいるのです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「意味を変容しながら」。)	3-(3)	
3	44	右3段	(読書のすすめ①) 宇治拾遺ものがたり 川端義明	誤りである。 (「義」。)	3-(1)	
4	52	上6	(古文読解のために④) ②活用……下の語に応じてどのように活用するか。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (活用について誤解する。)	3-(3)	
5	66	脚注5	「から衣…」の歌 …「なれ」(褻れ・馴れ)、「つま」(棲・妻)、「はるばる」(張る張る・遙々)、「き」(着・来)はすべて掛詞で、「衣」の縁語。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (縁語について誤解する。)	3-(3)	
6	73	5 - 10	(「かきつばた」で折句の歌を作ってみよう。) それでいて、歌全体は一つのまとまりをもった心情を表す成り立ちになっている。折句とはどのような成り立ち	生徒にとって理解し難い表現である。 (「心情を表す成り立ち」「折句とはどのような成り立ちの歌であるか」。)	3-(3)	
			の歌であるか、わかったらどうか。			
7	106	脚注3	秦の趙高 晋の始皇帝の臣。	誤りである。 (「晋」。)	3-(1)	
8	116	上16 -17	(古文読解のために⑥) 例 最後のいくさして見せたてまつらん。(110・14) →巴から義仲への敬意を表す尊敬語(補助動詞)。	誤りである。 (「尊敬語」。)	3-(1)	
9	117	上13 -15	(同) 例 (帝は)かぐや姫の御もとにぞ、御文を書きてかよはせたまふ。(竹取物語) →「せ」(尊敬の助動詞) + 「たまふ」(尊敬の補助動詞)	生徒にとって理解し難い例である。 (二重敬語の例として理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-76		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	127	脚注8	詩を作りて歌に合はせ 数名が左右に分かれ、同じ題で一方は漢詩、一方は和歌を作って比べ競う詩歌合のこと。元久二年（一二〇五）開催の「元久詩歌合」をさす。	生徒が誤解するおそれのある説明である。（元久詩歌合について誤解する。）	3-(3)	
11	134	上6	（作者説明） 後鳥羽院…建久九年（一一九九）	誤りである。（「一一九九」。）	3-(1)	
12	135	上1-2	（同） 額田王 …はじめ大海人皇子（後の天武天皇）に仕え、皇女を生む。	生徒にとって理解し難い説明である。（「はじめ…に仕え」。）	3-(3)	
13	135	上5	（同） 式子内親王 生年未詳	生徒が誤解するおそれのある説明である。（式子内親王の生年が確定していないかのように誤解する。）	3-(3)	
14	136	上13-15	（古文読解のために⑦） 序詞 ある語を導き出すために用いられる言葉で、枕詞のように音数に定まりはありません。	生徒が誤解するおそれのある説明である。（序詞について誤解する。）	3-(3)	
15	163	11-12	（旅と紀行文） 中でも、松尾芭蕉の『奥の細道』のような俳文の登場に注目されます。	生徒にとって理解し難い表現である。（「俳文の登場に注目されます」。）	3-(3)	
16	175	下11	（作者説明） 種田山頭火 明治十五年（一八八三）	誤りである。（「一八八三」。）	3-(1)	
17	184	脚注2	則「すなはち」と読み、「～すれば」という仮定条件を表す。（229ページ脚注「▼則〔仮定〕～すれば（205ページ参照）」も同。）	生徒が誤解するおそれのある説明である。（「則」について誤解する。）	3-(3)	
18	191	20-21	（身のまわりにある漢文） このように漢文で書かれた故事を知ることによって故事成語が正しく使うことができるようになり、	生徒にとって理解し難い表現である。（「故事成語が正しく使うことができるようになり」。）	3-(3)	
19	201	脚注	▼寧〔選択〕いっそ～しても～するな（205ページ参照）。	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-76		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	203	18 - 20	(史話入門) しかし実際は皇帝になっていない項羽のほうは「秦」と「西漢」に事跡が記されています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直前とのつながりが理解し難い。)	3-(3)				
21	210	脚注	柳宗元 …号は柳州。	誤りである。 (「柳州」。)	3-(1)				
22	215	7	(学習のポイント) ④「香炉峰下…」は『和漢朗詠集』(巻下、山下)や	誤りである。 (「山下」。)	3-(1)				
23	224	上4- 5	(漢文読解のために③) この六朝末から唐初期ごろを境にして、それ以降の詩を近体詩、それより前の詩を古体詩といいます。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (近体詩と古体詩について誤解する。)	3-(3)				
24	245	脚注	▼不復～【部分否定】 二度とは～しない(194ページ参照)。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (本文に照らして誤解する。)	3-(3)				
25	248	6	(蘭亭序) 和暢(わちやう)す。	不正確である。 (「ちやう」。)	3-(1)				
26	261	上表1 4段	(古語助詞一覧表、「つつ」の接続) 未然形	誤りである。 (「つつ」は、未然形には接続しない。)	3-(1)				
27	261	下表3 4段	(同、「な」の接続) 連体形	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「な」の接続について誤解する。)	3-(3)				
28	288	表22	(文学史年表) 九五―天曆五 後撰和歌集(源順ら撰)	生徒が誤解するおそれのある表示である。 (後撰和歌集の成立年時が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)				
29	289	表5	(同) 一〇〇八 寛弘五 源氏物語(紫式部)	生徒が誤解するおそれのある表示である。 (源氏物語の成立年時が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 102-77		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	114	9 - 11	(木曾の最期、リード文) 京から敗走した義仲は、宇治や勢田の戦いで生き残った今井兼平や巴らを含む味方三百余騎を率い、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (平家物語の内容について誤解する。)	3-(3)	
2	291	上1- 3	(戦争と向き合う文学一状況を見つめる目一) この区分に当てはめてみれば、ヤマトタケルノミコト伝説は、戦いの形式としては「原始的戦争」、戦いの意味と	生徒にとって理解し難い説明である。 (ヤマトタケルノミコト伝説と平家物語の説明として理解し難い。)	3-(3)	
			しては「帝国戦争」にあたり、『平家物語』は「貴族戦争」の典型といえる。			
3	291	上7- 11	(同) 「貴族戦争」を背景とした軍記物語は、個人の英雄譚や武功の物語として受容され、死や滅亡が美の視点から語られる傾向にある。	生徒にとって理解し難い説明である。 (軍記物語の説明として理解し難い。)	3-(3)	
4	310	下11	(〈虎〉への変身は永遠の謎) 究極的に人間の内面を凝視することと符号する	誤記である。 (「符号」。)	3-(2)	
5	313	表4 5段	(古典文学史年表) 藤原彰子入内 九九〇	誤りである。 (「九九〇」。)	3-(1)	
6	319	下	吉川英治『三国志』の図版の表紙にある「吉川英治歴史時代文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	裏見返 ⑤		(中国参考地図) 朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国の国境線	生徒が誤解するおそれのある国境線である。 (朝鮮半島の状況について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-78		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	92	9 - 11	(木曾の最期、リード文) 京から敗走した義仲は、宇治や勢田の戦いで生き残った今井兼平や巴らを含む味方三百余騎を率い、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (平家物語の内容について誤解する。)	3-(3)				
2	233	上1- 3	(戦争と向き合う文学―状況を見つめる目―) この区分に当てはめてみれば、ヤマトタケルノミコト伝説は、戦いの形式としては「原始的戦争」、戦いの意味と	生徒にとって理解し難い説明である。 (ヤマトタケルノミコト伝説と平家物語の説明として理解し難い。)	3-(3)				
			しては「帝国戦争」にあたり、『平家物語』は「貴族戦争」の典型といえる。						
3	233	上7- 11	(同) 「貴族戦争」を背景とした軍記物語は、個人の英雄譚や武功の物語として受容され、死や滅亡が美の視点から語られる傾向にある。	生徒にとって理解し難い説明である。 (軍記物語の説明として理解し難い。)	3-(3)				
4	297	表4 5段	(古典文学史年表) 藤原彰子入内 九九〇	誤りである。 (「九九〇」。)	3-(1)				
5	303	下	吉川英治『三国志』の図版の表紙にある「吉川英治歴史時代文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
6	裏見返 ⑤		(中国参考地図) 朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国の国境線	生徒が誤解するおそれのある国境線である。 (朝鮮半島の状況について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-79		学校 高等学校		教科 国語		種目 言語文化		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	164	下7-9	(文字) 万葉仮名を書き崩したもの。昔は一つの音に対して多様な仮名があった。これを変体仮名という。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (変体仮名について誤解する。)	3-(3)				
2	262	脚注29	烽火 のろし。敵の襲来を告げるために焚かれる煙。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「烽火」について誤解する。)	3-(3)				
3	289	表4 5段	(古典文学史年表) 藤原彰子入内 九九〇	誤りである。 (「九九〇」。)	3-(1)				
4	295	下	吉川英治『三国志』の図版の表紙にある「吉川英治歴史時代文庫」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
5	裏見返 ⑤		(中国参考地図) 朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国の国境線	生徒が誤解するおそれのある国境線である。 (朝鮮半島の状況について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-80		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	69 - 70	下5- 上5	詩の中には、よく比喻が出てきます。高村光太郎の「冬が来た」について考えてみましょう。…作者は「冬」という言葉で、何か「別のこと」を表しているのではないかと、つまり、「冬」は	生徒が誤解するおそれのある説明である。(教材「冬が来た」について誤解する。)	3-(3)	
			何かの隠喩ではないかと考えられるわけです。			
2	105	下1- 20	大正～昭和戦前 物語の「書きづらさ」…ますます深まる小説の「書きづらさ」が見え隠れしている。	生徒にとって理解し難い説明である。(104ページ冒頭の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)	
3	106	下1- 7	身の回りの文章や物語が、どんな理想のもとに書かれているか、…意外に大きな策略や理念が潜んでいるかもしれないのだから。	生徒にとって理解し難い説明である。(104ページ冒頭の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)	
4	133	上3- 4	芥川龍之介 (八六ページ参照)	不正確である。(ページの示し方が不正確である。)	3-(1)	
5	176	下囲み	(課題) 3 書き換えた作品を互いに読み合い、元の和歌と比較しながら、解釈の違いや表現の工夫について批評し合おう。	生徒にとって理解し難い指示である。(「解釈の違いや表現の工夫について批評し合おう」。)	3-(3)	
6	203	2 - 3	中国語は日本語とは異なる言語であり、その文字である漢字を用いて日本の言葉を書き記すために、さまざまな工夫が積み重ねられていった。	生徒にとって理解し難い表現である。(文意が理解し難い。)	3-(3)	
7	204	11	平仮名を用いて書いた文体(和文)によって、和歌や物語などが数多く書かれた。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(「和文」について誤解する。)	3-(3)	
8	214	2 - 3	助字の中で、その字の持つ役割を、前後の文字の送り仮名として示し、改めてその字を読む必要がなくなったものを置き字という。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(置き字について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-81		学校 高等学校		教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	183	横書7 -9	下に掲げた絵には、文章を読んで聞かせる女房と、絵画を見ながらそれを聞いて楽しむ女性が描かれている。	生徒にとって理解し難い説明である。 (直前の説明との関係が理解し難い。)	3-(3)	
2	225	上5- 7	中国語は日本語とは異なる言語であり、その文字である漢字を用いて日本の言葉を書き記すために、さまざまな工夫が積み重ねられていった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
3	234	2 - 3	助字の中で、その字の持つ役割を、前後の文字の送り仮名として示し、改めてその字を読む必要がなくなったものを置き字という。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (置き字について誤解する。)	3-(3)	
4	241	囲み下 8-10	矛と盾という身近な武器は、ともに最高を主張する儒家の堯と舜になぞらえられているのである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「儒家の堯と舜」)	3-(3)	
5	244	上17 -下4	例えば、「故事成語一三編」の「矛盾」「助長」「推敲」における十二例の「之」が、「助字」として、代名詞、助詞(連体修飾・主格・同格)といった役割を担うことを考えれば、「助字	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (助字について誤解する。)	3-(3)	
			」に関する正確な知識こそが、文章の内容理解に欠かせないものであることも納得がいくだろう。			
6	272	上1- 4	人は他人と関わりなしに生きていけない。しかし同じ顔の人間がいないように、全く同じ価値観を持つ人間に出会うこともまれであろう。それでも人は、共感できる部分を認め合って交わり	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
			を結ぶ。			
7	281	下囲み	(課題) 3 調べたことを整理して、一枚の用紙にまとめる。 ・一人の人物について複数グループで調べ、名鑑(弟子についての評価)の	生徒にとって理解し難い指示である。 (活動の手順が理解し難い。)	3-(3)	
			違いなどを比べてみよう。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-82		学校 高等学校	教科 国語	種目 言語文化	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	81	脚注	(13 六波羅の入道) 出家後、六波羅（今の京都市東山区） に居を構えたので、こう呼ばれた。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 （平清盛について誤解する。）	3-(3)
2	88	図	(義仲進撃路) 瀬多と京の間の合戦記号	生徒が誤解するおそれのある図である。 （義仲が京に入る前に瀬多で合戦があったかのように誤解する。）	3-(3)
3	107	脚注	(9 和泉が城) 和泉三郎忠衡（?～一一八九）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （生年が定まっていないように誤解する。）	3-(3)
4	152	脚注	(本文スコープ) 「鶏鳴」や「狗盗」はどのような人物 として描かれているか、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「人物として」。）	3-(3)
5	178	脚注	(本文スコープ) 「千里馬」が力を発揮するには、どん な困難を乗り越えなければならないか 、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （本文の内容について誤解する。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。